

いつも応援ありがとうございます。DerMond Kommuni第18号では2023年5月～2023年11月の活動をフォトレポート形式でお送りします。Rioさんは俳優として、歌い手として、それぞれの表現に磨きをかけながら活動してきました。気になる来年の作品のビジュアル撮影の様子もぜひ御覧ください。

REPORT 1

ミュージカル 『エリザベス・アーデンvs.ヘレナ・ルビンスタイン -WAR PAINT-』

〈東京公演・日生劇場〉2023年5月7日(日)～17日(水)

〈大阪公演・森ノ宮ピロティホール〉2023年5月27日(土)～29日(月)

〈愛知公演・御園座〉2023年6月2日(金)～4日(日)

〈京都公演・京都劇場〉2023年6月8日(木)～13日(火)

化粧品業界で革命を起こした二人の女性の生き様を描いたブロードウェイ発の作品。Rioさんはエリザベスの事業を支える夫、トミー・ルイスを演じました。



細部までこだわりが詰まったお衣装。



小物も高級感溢れるアイテムが揃っています。



役作りで髭の形を研究したRioさん。
時代に合った髭の形にするべく、
俳優のクラーク・ゲーブルが演じた
レット・バトラーを参考にしたそう。
あまり角度をつけないように
するのがポイント!



エリザベス役の明日海りおさんと。
“りおりお”コンビ誕生!



トミー&ハリー(吉野圭吾さん)がお酒を飲むシーンは、マンハッタンに実在する高級ホテル、セントレジス・ニューヨークのバーがモデル。そこで誕生したカクテル「ブラッディ・メアリー」を飲んでいる設定でした。舞台上で実際に飲んでいたのは野菜ジュース。稽古中に何種類か試飲して、一番おいしいものを吉野さんと一緒に選びました。

物語後半でパートナーになる、
ヘレナ役の戸田恵子さん。



トミーのヘアメイク×白タンクトップが
フレディ・マーキュリーに似ていることに気づき、
スタッフさんが小道具を集めて爆誕した1枚。
本編とは一切関係ありません(笑)。



REPORT2

『上原理生リサイタル～Arc 音楽の架け橋』

《八ヶ岳高原音楽堂》2023年6月24日(土) ピアノ:濱野基行

八ヶ岳の大自然と大きな窓から差し込む柔らかい光に包まれ、非常に美しく温みのあるホールで歌をお届けしました。

♪SET LIST

第1部 クラシカル・ステージ

シューマン:『詩人の恋』より抜粋

シューベルト:白鳥より『セレナーデ』

シューベルト:『魔王』

第2部 ミュージカル・ステージ

見果てぬ夢～『ラマンチャの男』

愛せぬならば～『美女と野獣』

Memory～『キャッツ』

The Music of the Night～

『オペラ座の怪人』

Stars～『レ・ミゼラブル』

Climb Every Mountain～

『サウンド・オブ・ミュージック』

アンコール

まだ逢う日まで

第2部で着たベストは、ミュージカル『1789-バスターキョの恋人たち』や『マリー・アントワネット』で衣装を手掛けられた生澤美子さんに作っていただいたお気に入り。



「天井がドーム状で高いところが教会のよう。上から音が降ってくる感覚だった」とRioさん。客席もどの位置でも音に差がなく、ホール全体に音が響き渡る素晴らしい空間でした。



伴奏はおなじみの濱野基行さん。素晴らしい演奏をありがとうございました!

NOTE

八ヶ岳高原散策&陶芸絵付け体験

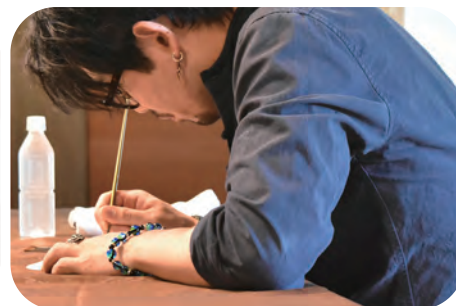
2023年6月25日(日)

八ヶ岳高原ロッジに泊まった翌日はFC会員限定イベントを開催。総勢70名のみなさまと八ヶ岳高原散策&陶芸絵付け体験をしました。



双眼鏡で何やら一生懸命見ているRioさん。支配人兼ガイドさんの案内を聞きながら、溢れる自然と歴史の趣を感じました。

散策時に着ていたのは『ミス・サイゴン』のカンパニージャケット。背中の龍はRioさん自身が購入してアイロンで貼り付けたオリジナルです。



散策後は陶芸工房で絵付け体験。Rioさんは音楽堂の裏にある樹をイメージして描いたそう。まるで大人の修学旅行のような楽しい時間でした!

REPORT3

『上原理生 & 酒井崇 バリトンリサイタル Summer Time』

《浜離宮朝日ホール》2023年7月14日(金)

春に開催することが多いバリトンリサイタルですが、今回は珍しく夏に開催。口笛奏者の青柳昌武さんをゲストに迎え、Rioさんが「僕らは前座でした(笑)」と漏らす程に盛り上げていただきました。Rioさんが歌ったオペラ『アンドレア・シェニエ』は、偶然にもフランス革命が舞台の作品でした。

♪SET LIST

- Mattinata 朝
- l'te vurria vasa! あなたに口づけを
- Penso 僕は思っている
- La serenata セレナータ
- Dicitencello Vuie 彼女に告げて
- Amore perduto (Adagio) 失われた愛
- Come un bel dì di maggio 美しい五月の日のように
(オペラ『アンドレア・シェニエ』より)
- 闘牛士の歌(オペラ『カルメン』より)
- Pietà, rispetto, amore, 憐みも、尊敬も、愛も
(オペラ『マクベス』より)
- If I Can Dream 明日への願い
- ロミオとジュリエット
- 私のお父さん(オペラ『ジャンニ・スキッキ』より)
- チャルダッシュ
- 月華
- ヴィヴァルディが見た日本の四季
- くちなし
- ヨイトマケの唄
- あの日のまんま
- 昂
- 大空と大地の中で
- 青葉城恋唄

当日のリハーサル。本番をイメージしながら音の響きの最終確認をしていきます。



(左から)バリトンの酒井崇さん、
口笛奏者の青柳昌武さん、
ピアノの濱野基行さん、Rioさん。



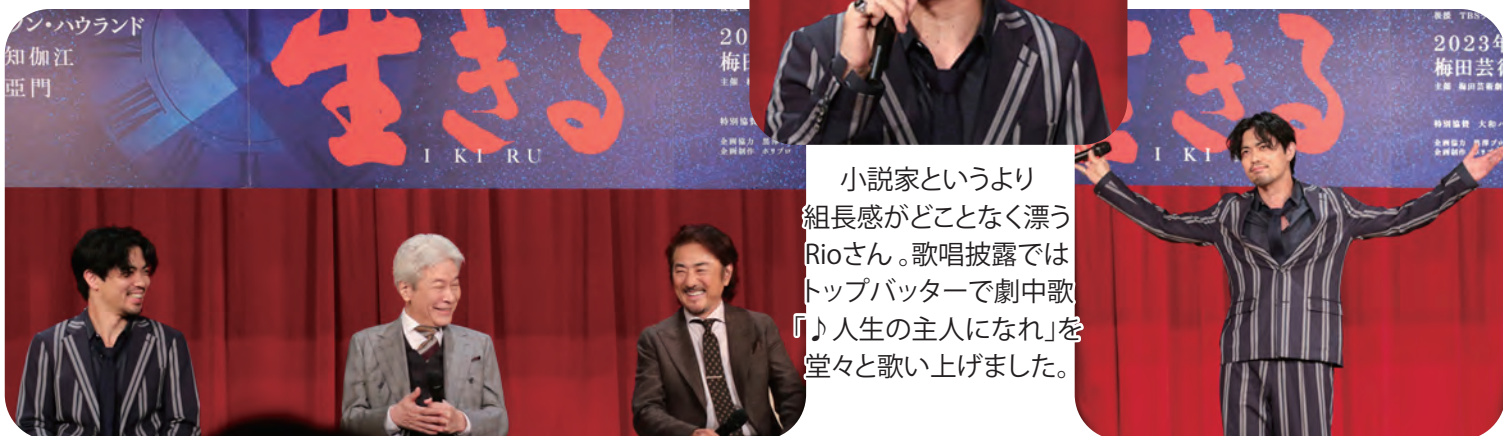
口笛奏者の青柳さん。
オリジナル曲も素敵でしたね。
超絶技巧に圧倒されました！



リハーサル時に口笛で奮闘するRioさん。
出演者が次々に口笛を促されていく
場面は本番でも大盛り上がり！

NOTE

ミュージカル 『生きる』製作発表会 2023年6月20日(火)



小説家というより
組長感がどことなく漂う
Rioさん。歌唱披露では
トップバッターで劇中歌
『♪人生の主人になれ』を
堂々と歌い上げました。

REPORT4

ミュージカル『生きる』

〈東京公演・新国立劇場 中劇場〉

2023年9月7日(木)~24日(日)

〈大阪公演・梅田芸術劇場メインホール〉

2023年9月29日(金)~10月1日(日)

日本発のオリジナルミュージカル『生きる』がついに3度目の上演。Rioさんは初参加で小説家役(平方元基さんとWキャスト)に挑みました。



初めて『ミス・サイゴン』に出演したときから見守ってくださっている、愛する師匠! 市村正親さん。



レジェンド鹿賀丈史さんとは初共演!



(左から)
小田切トヨ役の
高野菜々さん、組長役の福井晶一さん、Rioさん。



渡辺一枝役の実咲凜音さんに教えてもらった宝塚の花組ポーズにチャレンジしたものの、なぜかジョジョ立ち風になるRioさんなのでした。



NOTE

朝日カルチャーセンター 上原理生さんと『生きる』

〈朝日カルチャーセンター新宿教室〉

2023年9月12日(火)



演劇評論の第一人者である村上湛先生と朝日カルチャーセンターの講座に登壇。村上先生とは以前『レ・ミゼラブル』で講座をご一緒させていただいて以来、博識な先生とのトークはとても勉強になります。Rioさんの『生きる』の劇中で「ゴンドラの唄」が登場する背景のお話が特に胸に響いたそう。

REPORT5

20th Anniversary Rio Asumi sings dramas

『ヴォイス・イン・ブルー』ゲスト出演

〈東京国際フォーラム ホールC〉2023年9月16日(土)

明日海りおさんの20周年記念コンサートにゲスト出演。エリヘレ以来の“りおりお”コンビ復活です。MCでは明日海さんから「除夜の鐘感がある」とコメントをいただきました。何を歌おうかとRioさんがまず思い浮かべたのは「Stars」(『レ・ミゼラブル』より)と「私が踊る時」(『エリザベート』より)。すると偶然にも先方も同じ曲を考えていたそうで即決定。貴重なRioトート×みりザベスの歌声が響き渡りました。

